

あれから15年、 福島はどうなっているのでしょうか？

講 師：^{しかた}四方 ^{さとし}哲さん

日 時：2026年3月13日(金) 午後6時～8時

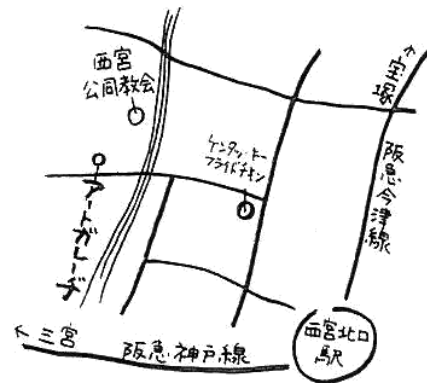
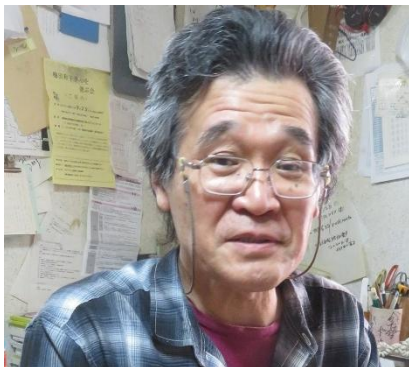
場 所：西宮公会教会 集会室

〒662-0834 西宮市南昭和町10-22

0798-67-4691

阪急西宮北口駅より 徒歩3分

参加費：500円



四方 哲

ロシナンテ社は1970年創業。「月刊地域闘争」(1990年「月刊むすぶ」に改題)を発行してきました。環境破壊と闘う住民運動の発信をお手伝いする雑誌です。私、四方は1984年から働いています。

「東日本大震災、それに伴って発生した福島第一原発事故。福島県の浜通りを中心に放射性物質の深刻な汚染が広がりました。今も約2万7千人から約5万人の住民が避難しています。震災関連死者数は約2400人。この多くが避難生活のストレスとされています。放射性物質とどう向き合うのか。そんなことを考えてみたいと思います。」

(四方 哲)

主催：関西神学塾
協力：障害児・者情報センター
問合せ：西宮公会教会
西宮市南昭和町 10-22
TEL：0798-67-4691
MAIL：koudou@gamma.ocn.ne.jp